

Living My Dream Life

in ふじのくに

誰もが夢を実現できる
静岡県



24kgもあるキハダマグロを釣り上げた三浦さん。1時間以上も格闘した末の釣果。



三浦さんの活動を支える釣り仲間。三浦さん自身も小型船舶や潜水士の資格を持つ。



焼津の飲食店を応援する「焼津エール飯」。現在105店のテイクアウト情報を発信。

こぼれるような笑顔が印象的な三浦愛さんは、自他共に認める釣りガールだ。幼少期から野山を駆け回り、高校卒業後は躊躇なく日本大学生物資源科学部へ。「大学院まで行きましたが、学生の頃は本当に釣りばかり。だから就職先に釣具店を選んだことにも迷いはありませんでした」と三浦さんは振り返る。

転機は28歳の時。「大学院時代、研究発表で海外へ行くたびに、一度は留学したいと考えていました。でも、どうせ行くなら魚がおいしいところが良いだろうと、熟考もせずにイタリアのレストランで修行しました」と三浦さん。しかし、帰国後は無職の状態。「その時、偶然ネットで見つけたのが焼津市の地域おこし協力隊の募集記事です。気軽に応募してみたら、見る見るうちに事が進み、気がつけば、釣りを通じて焼津の魅力を発信する立場に」。現在は市内の飲食店を応援するSNS「焼津エール飯」も主宰し、地元の活性化に取り組んでいる。

「活動の中心は、釣りの醍醐味を伝えるイベント開催です。以前はマグロのような大物を釣ることが目的でしたが、今は子どもが初めて魚を釣った時に見せてくれる笑顔が一番の喜び。だからイベント時は絶対に釣らせませんよ」と三浦さんは笑う。

「船釣りには非日常的な解放感があります。海上から眺める富士山も最高。そんな醍醐味を多くの人に知ってほしい」。国内外を渡り歩いてきた三浦さんは、焼津で新しい夢を見つけた。

ここに来て釣り人としての喜びが変わりました。



焼津市 地域おこし協力隊

み うら あい

三浦 愛さん

1987年埼玉県川口市生まれ。幼少期から自然と親しみ、高校卒業後、日本大学生物資源科学部海洋生物資源科学科へ進学。釣り三昧の学生生活を経て、釣具店に就職。1年間のイタリア留学をはさんで、焼津市の地域おこし協力隊に参加。釣りや魚の魅力伝えるためにイベントの開催やネットによる情報発信を続ける。焼津市在住。